

セミナーのご案内【横浜開催】

安全規格が くっきり見える!!

各国規制の最新動向と、
マニュアルの国際規格

第1部 認証制度概要と各国規制の動向
～CEマーキング・北米NRTL認証・韓国KCs認証など～

第2部 マニュアルによる残存リスク対策
～使用説明の国際規格「IEC 82079-1」の活用～

⚠ こんな方にオススメです

- 自社製品の海外輸出を検討しているが、
“規制”や“規格”などの情報収集に困っている
- “規制”や“規格”が改訂されていることは知っているが、
どのような影響があるのか分からない
- マニュアルや警告ラベルなど、使用説明の“規制”や
“規格”対応に不安がある

開催日時 **2015年 12月4日(金)**

[開場] 13:30 / [開始] 14:00 / [終了予定] 16:30

会場 **テュフ ラインランド ジャパン株式会社
テクノロジーセンター(GTAC)**

受講料 **5,000円**(1名様・税込み) 定員 **40名**

詳しくはWebで <http://safety.k-tecs.co.jp/seminar/info.html>



セミナーのご案内【横浜開催】

安全規格がくっきり見える!! 各国規制の最新動向と、マニュアルの国際規格

主催:株式会社テックコミュニケーションズ 共催:テュフ ラインランド ジャパン株式会社

製品輸出に必要な認証制度をご存知ですか?

海外には安全に関する、さまざまな“規制”や“規格”があります。

“規制”や“規格”への理解が不十分だと、安全性の確保やコストの最適化を行うことは困難です。

第三者認証制度を利用すれば、各国の“規制”や“規格”に適合していることを証明できます。

欧州・北米地域では製品の安全性を確保するために、公正・中立な第三者による認証制度が取り入れられてきました。

この制度は、アジア、南米にも普及しています。海外に製品を輸出するためには、認証制度の正しい理解が不可欠です。

本セミナーの第1部では、CEマーキング制度において第三者認証を実施できる認証機関から講師を招き、主に産業用機械・機器について、認証制度や各国の規制・規格の最新動向を解説します。

第2部では、リスクアセスメント後に不可欠となる残存リスク対策について、2012年に発行された『IEC 82079-1 使用説明の作成・構成、内容及び表示方法 第1部』に適合したマニュアルへの対応を紹介します。

セミナー内容

日時 2015年12月4日(金) [開場]13:30 / [開始]14:00 / [終了予定]16:30

会場 テュフ ラインランド ジャパン株式会社 テクノロジーセンター(GTAC)

横浜市営地下鉄 グリーンライン「北山田駅」から 徒歩約12分

横浜市営地下鉄 ブルーライン「センター北駅」から 徒歩約15分

受講料 5,000円(1名様・税込み) **定員** 40名



第1部

認証制度概要と各国規制の動向 ～CEマーキング・北米NRTL認証・韓国KCs認証など～

—— 講師:テュフ ラインランド ジャパン株式会社 製品安全部 産業機器課 海野 明儀(うんの あきよし)氏



第2部

マニュアルによる残存リスク対策 ～使用説明の国際規格「IEC 82079-1」の活用～

—— 講師:株式会社テックコミュニケーションズ クリエイティブ部 マニュアルグループ 津田 敦史(つだ あつし)

セミナーお申し込み

<http://safety.k-tecs.co.jp/seminar/info.html>

Webサイトでは、セミナーについての詳しい情報を掲載しています。